

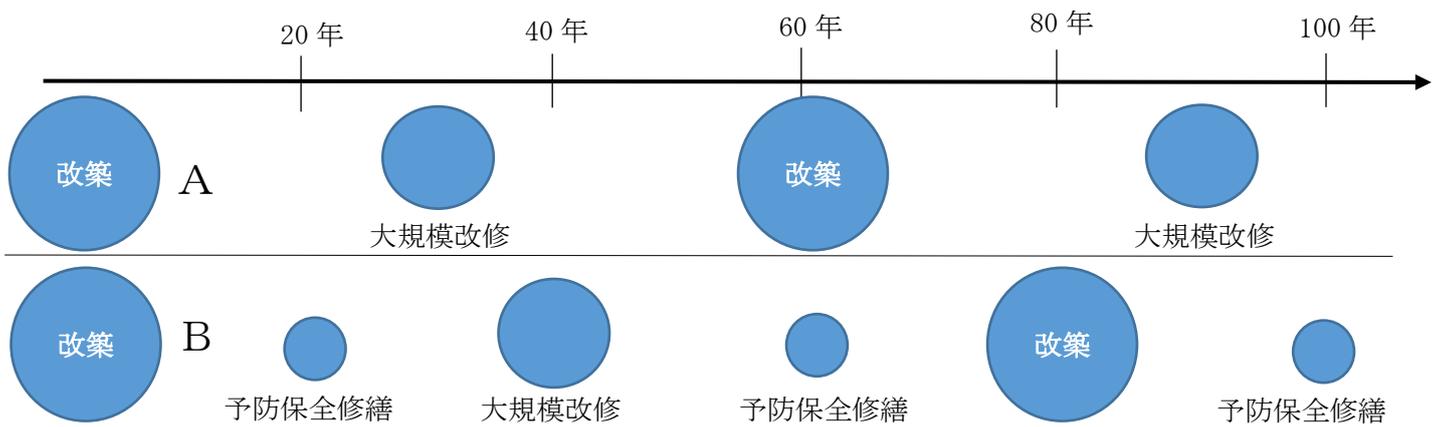
愛西市教育委員会からのお知らせ (Vol.20)

愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模等の検討並びに老朽化対策を進めています。今回 (Vol.20) は、「老朽化対策の手法」「第2回佐屋小学校準備委員会の開催」「準備委員会公募委員の募集終了」について、お知らせします。

老朽化対策の手法について

現在進めている施策 1.佐屋小学校の老朽化対策だけでなく、今後順次進めていく小中学校施設の整備・管理にあたって、平成29年度に策定した愛西市公共施設等総合管理計画において、「予防保全」への転換をはかっています。

- 従来の考え方(A) : 30年で大規模改修を行い、60年で建替えを行う。
- 予防保全の考え方(B) : 20年と60年で予防保全修繕を行い、40年で大規模改修、80年で建替えを行う。



改築、大規模改修（長寿命化改修）について

	概 要
改築	既存の建物を全て解体して躯体から新築工事を行うもの。
大規模改修 (長寿命化改修)	老朽化施設した施設を、将来にわたって長く使い続けるため、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の機能を現在の学校が求められている水準まで引き上げること。※躯体（建築物全体を構造的に支える骨組み部分のことで、構造体のこと）を再利用する

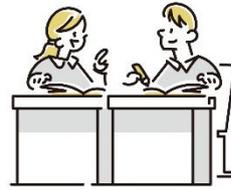
学校施設については、大半が建築から40~50年以上が経過する施設であり、老朽化対策を進めるにあたり、施設の現状を確認する必要があることから、まずは健全度（耐力度）調査を実施し、改築を行うか大規模改修を実施するか、手法を決定します。

ただし、健全度調査を実施した結果、①コンクリートの強度不足、②基礎における鉄筋の腐食、③校地環境（※）の安全性の欠如がある場合は、対策費用がかかるため、大規模改修（長寿命化改修）には適さないとされています。 ※ 校地環境：学校敷地の環境のこと

裏面には、「第2回佐屋小学校準備委員会の開催」「準備委員会公募委員の募集終了」について、掲載しています。

第2回佐屋小学校準備委員会が

開催されました



令和6年11月7日（木）に、佐屋小学校老朽化対策に係る第2回準備委員会が開催されました。

始めに、施設・通学路部会、地域課題部会で検討した内容の報告が行われ、委員会全体で共有した後に、改めて学校に必要な施設や機能について、検討されました。

続いて、これまでの意見を踏まえ、佐屋小学校の老朽化対策をどのような手法で進めるべきだと考えるか、各委員から現時点での意見が述べられました。新しい学校での学びや、有事の際の避難所としての役割から、改築が必要だと考える委員が多くみえましたが、早急な対応や事業費などを考慮して、改修あるいは一部改修といったご意見も挙がりました。

会議の様子



今後、佐屋小学校の耐力度調査の結果を踏まえ、また準備委員会の意見も参考に、佐屋小学校老朽化対策の手法を検討してまいります。

準備委員会公募委員の全ての委員が決定しました

募集案内をさせていただいておりました、準備委員会の公募委員について、全ての公募委員が決定いたしました。ご応募いただいた皆様、誠にありがとうございました。

新たな公募委員に加わっていただき、引き続き準備委員会、検討部会での検討を進めてまいります。



市ホームページ

(これまでのチラシもご覧いただけます)

お問い合わせ先 愛西市教育委員会事務局教育部学校教育課
0567-55-7136 / gakko-kyoiku@city.aisai.lg.jp